



山形中央ロータリークラブ

クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

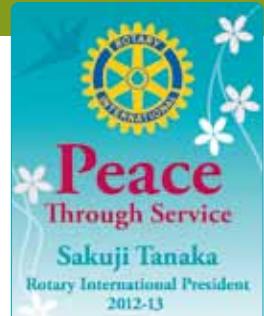


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 長鹿野 淳一	■職業奉仕 遠藤 隆一	■副幹事 江目 祐一
■会長エレクト 板垣 喜代志	■社会奉仕 長橋 正人	■会計 小林 敏郎
■副会長 三浦 龍夫	■新世代奉仕 安部 敏	■S A A 佐藤 吉信
■直前会長 安藤 英男	■国際奉仕 斎藤 真	国際ロータリー会長 田中 作次(八潮RC)
■クラブ管理運営 金子 将人	■幹事 伊藤 和子	第2800地区ガバナー 和田 広(南陽東RC)
		第5ブロックガバナー補佐 千歳 徹(山形イブニングRC)

◆日時/2013.3.26 12:30 ◆例会場/ホテルメトロポリタン山形



会長挨拶



だいぶ暖かくなり昨年と比べると山形市内は残雪もなくなっているようです。三寒四温を繰り返し桜の季節になるのでしょうかが早く過ごしやすい気候になってほしいと思います。

早いもので平成24年度が終わろうとしています昨年と比べれば景気の話題に話が行きそうです。景気を底上げすることは大事ですが同時に東日本大震災の被災地における復旧・

復興のスピードを上げる事はもっと大事なことだと思います。様々な問題があるのでしうが問題解決に力を注いでほしいと願っています。

今日は、東北電力の春山優子部長にエネルギー事情のお話をさせていただきます。震災以来、原子力発電所も停止しており電力の原料問題があるなか4月から電気料金値上げが目前になっています。先日、山形県のエネルギーに関する会議でも同席させていただきましたがわかりやすくご説明いただけるものと思いますのでよろしくお願ひします。



鹿野淳一・伊藤和子／東北電力春山様の卓話に感謝して。

石山徳昭／お花ありがとうございます。

本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	40名	33名	82.5%
他クラブで メールアップ された会員	(山形東)海谷靖夫 金子昌弘 武田耕一 (山形西)武田耕一 (イブニング)長谷川淳			



ゲスト卓話

「電力事情と今後のグリーンエネルギーの展望」

東北電力(株)山形支店 企画管理部長 春山優子氏

1. 電気料金値上げ申請の背景

(1)当社を取り巻く厳しい経営環境

- 東日本大震災による設備被害と電力需要の減少、新潟・福島豪雨による設備被害、原子力発電所の長期停止による火力発電所の燃料費の大幅増加、東京電力福島第一原子力発電所の事故による直後・間接の影響など5つの大きな課題に取り組んでいます。

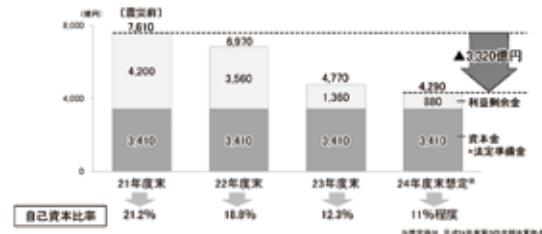


1. 電気料金値上げ申請の背景

(3)当社の財務状況

- 財務面においては、震災等による特別損失や燃料費の増加などにより、震災から2年程度で自己資本の約4割(利益剰余金の約8割)が減少しました。
- 現在の状況が続くと、資金調達と設備保全の両面から電力の安定供給に支障をきたすことになりますため、やむなく電気料金の値上げをお願いすることにいたしました。

■自己資本の変化

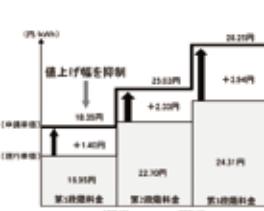


2. 電気料金値上げ申請の概要

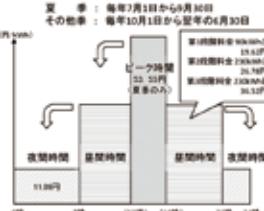
(6)お客様のご負担軽減に向けた取り組み

- ご家庭向けの電気料金は、3段階料金を設定していますが、今回の値上げでは、毎日の生活に必要不可欠な電気のご使用量に相当する第1段階料金の値上げ幅を抑制しています。
- 電気ご使用時間の移行により、電気料金の節約が可能となるメニュー「ピークシフト季節別時間帯別電灯」を新たに設定いたします。

■3段階料金制度(従量電灯Bの場合)



■ピークシフト季節別時間帯別電灯のイメージ



1. 電気料金値上げ申請の背景

(2)収支悪化への対応

- 収支面においては、平成24年度末で3年連続の赤字決算となる見込みであり、会社創立以来の厳しい状況となっています。
- 膨大なコスト負担を吸収するため、これまで緊急的な支出抑制や繰り延べを含むあらゆる分野のコスト削減などに努めてきましたが、全ては力尽し切れず、自己資本を取り崩して対応してきました。

■経常損益・当期純損益の推移(個別)

	21年度	22年度	23年度	24年度想定*
経常損益	277	628	▲1,842	▲500
当期純損益	206	▲331	▲2,322	▲480

■収支影響等(平成23~24年度累計)

収支悪化要因	収支悪化額		自己資本の取り崩しで対応 ※自己資本より自己資本の割合 額は3,300億円
	電力共通	労働等の取り扱い	
原予力発電所の長期停止	9,000	5,000	
電力需要の減少	1,000		
設備費の大きな影響 (設備費と自己資本の伸び率差)	3,300		
新潟・福島豪雨による 水力発電所の被害		3,000	収支改善対策

2. 電気料金値上げ申請の概要

(1)原価算定の概要

- 今回の申請にあたっては、国々の審査要領に則り、平成25~27年度の3年間を対象として、電気事業に必要な費用を見積もりました。
- 申請原価と改定前収入を比較すると、1,980億円の収入不足が発生する見込みとなりました。

■申請原価と改定前収入の差(年平均)



1. 再生可能エネルギーとは

自然エネルギーを中心に繰り返し循環使用できるエネルギー

主な再生可能エネルギー

風力発電

特徴

メリット

- CO₂排出量が少ない。もししくは増加させない。

デメリット

- 建設費用により初期投資がかかる。

太陽光発電

特徴

- 建設費用により初期投資がかかる。

メリット

- 建設費用により初期投資がかかる。

地熱発電

特徴

- 建設費用により初期投資がかかる。

メリット

- 建設費用により初期投資がかかる。

水力発電

特徴

- 建設費用により初期投資がかかる。

メリット

- 建設費用により初期投資がかかる。

バイオマス発電

特徴

- 建設費用により初期投資がかかる。

メリット

- 建設費用により初期投資がかかる。

近隣クラブ例会案内

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

山形西	大沼デパート
中山	料亭むらくま
天童西	ホテル王将
山形イブニング	パレスグランデール

山形南	ホテルキャスル
山辺	料亭さ津き
寒河江	さくらんぼ ホテルシンフォニー
山形イブニング	パレスグランデール

山形	山形グランドホテル
かみのやま	月岡ホテル
天童東	天童ホテル

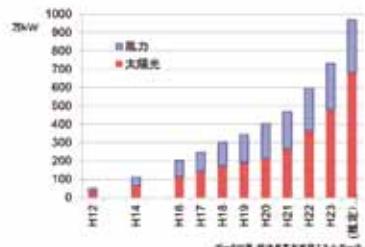
山形北	山形グランドホテル
寒河江	グラント寒河江

山形東	ホテルキャスル
天童	滝の湯ホテル

※欠席したらマークアップ、マークアップしたら出席委員長までご連絡下さい。

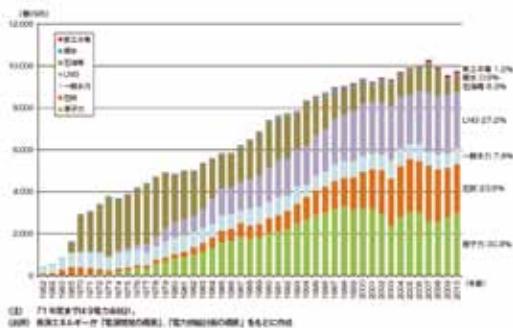
2. 日本の太陽光・風力発電の導入量(出力)

- 太陽光・風力発電設備は年々増加しています。平成24年度末推計で約900万kWです。
- 平成24年7月に再生可能エネルギー固定価格買取制度が終了し、今後も増加することが予想されます。



P2

(参考) 日本の発電電力量の推移



P4

(参考) CO2排出量の変化



P4

3. 東北電力の再生可能エネルギーの取組み (1/3) 【概要】

- 低炭素社会実現に向けた取り組みの一環として、当社管内の複数地点において、平成32年度までに合計1万kW程度のメガソーラー発電所を建設・運転する計画。

発電所名	八戸太陽光発電所	仙台太陽光発電所	酒田太陽光発電所
予定地點	八戸火力発電所内	仙台火力発電所内 (福島第一原発)	酒田火力発電所内
出力	1,500kW	2,000kW	1,000kW
発電能力 (一般家庭)	約160万kWh／年 (約60世帯分)	約210万kWh／年 (約60世帯分)	約105万kWh／年 (約30世帯分)



※許可申請をもとに作成して記載

P5

3. 東北電力の再生可能エネルギーの取組み (1/3) 【概要】

- 水力：自社設備として日本最多の210ヵ所を保有（約243万kW）
- 太陽光：増加傾向にあるものの、全国の5%（約24.8万kW）
- 風力：系統連系量は全国一で、日本全体の22%（約55.5万kW）
- 地熱：日本最大の発電設備を有し、全国の46%（当社グループ合計で約25万kW）



P5

5. 山形県の再生可能エネルギー開発の状況 (2/2)

- 山形県エネルギー総規画では、山形風や山地体等が計画しているもの。



P11

5. 山形県の再生可能エネルギー開発の状況 (2/2)

- 山形県は「エネルギー総規画」において、目標すべき県の姿の一つに再生可能エネルギー供給化を挙げています。
- 2030年までに約100万kWの再生可能エネルギーによる電源・熱源の開発を目指しております。うち、電源部分は約88万kWです。
- 目標実現のために、県が主導する形での開発や県内事業者の資金調達等への補助金メニューの整備を計画しています。
- 現在のところ系統連系済みのものが約8万kW、実現性が高いと思われる計画中のものが約4万kWであり、15%程度の差額率を見ております。

山形県の取組み概要	
風力	庄内地区での企業間、酒田市による開発 農地への公募
バイオマス	県内の木質バイオマスの活用促進
太陽光	村山地区での企業間開発 農地、市町村所有地への公募
中小水力	浄水場、蓄水所、農業水利施設の発電への活用促進

P10

6. 今後の展望

- 普及には高コスト問題の解決が必要。
- 自然の伏流水に大きな左右され、出力が不安定(太陽光、風力)。
- 出力変動が電力系統全体に影響し、削減がもらつたり、工事機材運搬が正常に動作せずに品質不良が発生する懸念もある。
- 広大な土地が必要になる(太陽光、風力)。
- 立地制限などの課題が必要(風力、地熱)。
- 系統対策などの開発が必要になってくる。
- 基幹エネルギー化には時間がかかる。

P12



山形中央ロータリークラブ

クラブ会報 CLUB NEWS

WEEKLY REPORT YAMAGATA CENTRAL

2012~2013年度国際ロータリーテーマ／奉仕を通じて平和を



国際ロータリー第2800地区 第5ブロック 山形中央ロータリークラブ 「20年を祝し、次の10年へ」

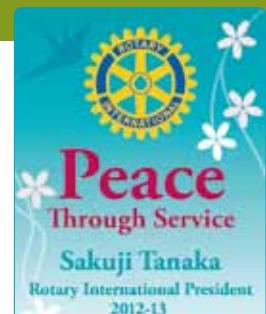


〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稻荷神社社務所ビル2F TEL (023) 632-7777 FAX (023) 624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 長鹿野 淳一	■職業奉仕 遠藤 隆一	■副幹事 江目 祐一
■会長エレクト 板垣喜代志	■社会奉仕 長橋 正人	■会計 小林 敏郎
■副会長 三浦 龍夫	■新世代奉仕 安部 敏	■S A A 佐藤 吉信
■直前会長 安藤 英男	■国際奉仕 斎藤 真	国際ロータリー会長 田中 作次(八潮RC)
■クラブ管理運営 金子 将人	■幹事 伊藤 和子	第2800地区ガバナー 和田 廣(南陽東RC) 第5ブロックガバナー 阪佐 千歳 徹(山形グローバルRC)

◆日時／2013.4.2 12:30 ◆例会場／ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング／君が代・奉仕の理想



会長挨拶



つい先日、新年のあいさつをしたと思ったらもう4月です、月日の早さに驚いています。今日はあいにくの雨ですが少しずつ暖かくなり過ごしやすい気候になってきました、これから花見のシーズンになり、さらにゴールデンウィークを控えて様々な計画を立てられている事と思います。私も日頃、家族サービスをしていないものですから少しはこの時期に何かしなければ考えているところですが普段何もしていないので思いつかずに困っているところです。

さて、新年度が始まるわけですが報道などを見ています

と大企業と中小企業の景況感の違いにかなりの差があるように思います。大企業においては好況感のある報道が多いようですが中小においては慎重な意見が多くみられる気がします。このまま社会全体が景気の良さを実感できるような経済状況になっていただきたいと思っています。

バブルがはじけて早20数年になり、現在社会に出て活躍しようとする人々は景気が良い状態を知らずに社会に出て行くのだと思います。あのバブルの経験はともかく好況な経済状況というのを経験させてあげたいと思います。

今日はジェトロの鈴木孝平所長を講師に迎えて卓話ををお願いしてありますのでよろしくお願いいたします。

ニコニコ・情報

鹿野淳一・伊藤和子／ジェトロ鈴木
様の卓話に感謝申し上げます。

4月 会員誕生・創立企業日

誕生日

斎藤 真 4.1 奥山 宏 4.26
長橋正人 4.30

企業創立記念日

後藤完司 T4.4.7	中川清美 S50.4.1
板垣喜代志 T12.4.1	川合勝芳 S51.4.17
今野久仁正 S2.4.1	安部 敏 S56.4.1
白田友二 S30.4.1	佐藤登美子 S58.4.23



本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	40名	—	26名	—
修正出席	40名	40名	29名	72.5%
他クラブで メールアップ された会員	(山形西)武田耕一			

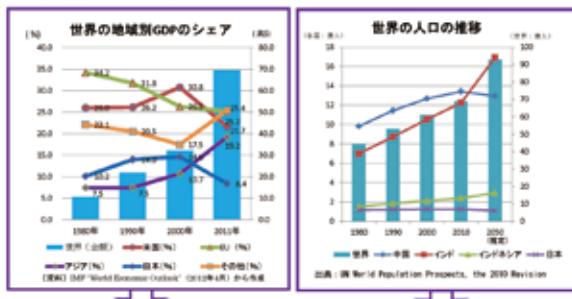


ゲスト卓話 「グローバル競争時代をどう生き抜くか」

日本貿易振興機構 山形貿易情報センター 所長 鈴木孝平氏

世界経済の現状

拡大する世界の経済と人口



日本を中心先進国のシェアが急激に低下、一方でアジアを中心新興国等のシェアが拡大。

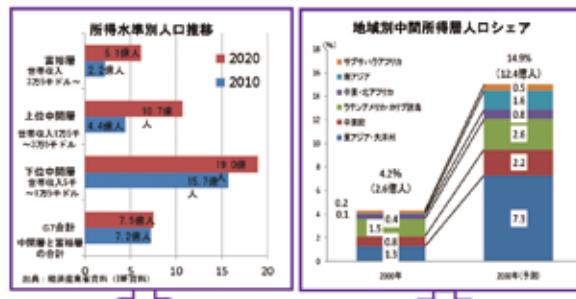
日本の人口が減少する中、世界全体特に主要新興国の人口増加が続く

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

2

拡大する新興国の中間所得層

新興国市場の開拓が鍵



中間層市場の急速な拡大

アジアなど新興国での中間層の拡大

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

3

日本経済の現状

経常収支の悪化と対外投資の増加



2011年に貿易収支が赤字に転落

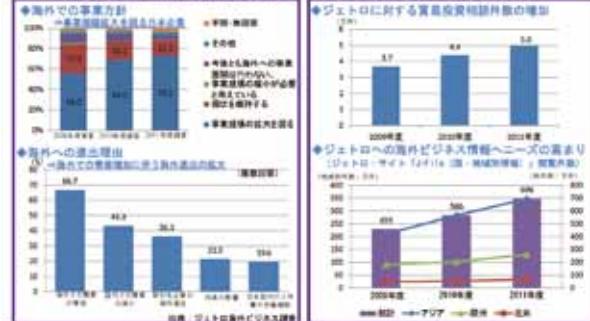
対外投資は増加傾向に見る

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

4

日本企業の海外進出動向

海外ビジネスに対する日本企業の関心の高まり



海外の成長の取込みに向け、諸外国の貿易振興機関もネットワーク等を強化（本資料巻末参照）

5

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

1. 海外展開の支援

(1) 新分野での取り組み強化 【農林水産・食品分野(1/2)】

農林水産・食品の市場拡大の観点から、政府は「輸出額を2020年までに1兆円水準とする」目標を設定。プロジェクトとして2012年3月に「農林水産・食品輸出促進本部」を発足。農林水産・食品の海外市場開拓支援を体制的に強化。

- ①国内での輸出実績に対する取り組み
 - 「農林水産・食品輸出促進本部」を発足。
 - これまでに、550社を超える相談会(2012年3月現在)。
- ②海外展開のための準備
 - 2012年度は海外本拠地(シンガポール・パキスタン)生産敷地を設立する。
 - 新規拠点から新進までのデータベースにて、機関マッチングの実施(上場・非上場企業プロダクト、沿岸法規アップ、有効化イニシアチブ推進)。
- ③新規生産への着手検討
 - 「生産・供給」「「日本製」「「日本製」「「農産品」「水産品」「農産品(肉・鮮農品)」「果」「果」「野菜」「野菜」「木」「木」「ジェトロ」として貿出促進に取り組む優先商品に自己に適定。
- ④新規出荷拠点の開拓や商談サポートを行う専門家の扶助と模擬内閣運営
 - 専門知識の開拓やミーティング・パーソン生産敷地を設立(北・東・西・南・中部・沖縄・アジア・台湾区・欧州)。
 - 新規拠点開拓の取り組みから輸出実績まで一貫して支援する輸出有望案件出張支援専門家を大幅に(4名→8名に拡大)。
- ⑤農業機械開拓
 - 農業機械に付随し、積極的に海外バイヤー等有力者と接続して機械会社等と連携。生産農園や生産管理機器等の構築も実施。(例)2012年3月 タイのバイヤーと接続し、組織化商品としては貿易連絡会議(例)会議(福島県との連携会議)。その後、バンコク会議を通じて、タイ王国主催。タイ農業大臣を含む人々にも福島県の様子を聞き。

8

1. 海外展開の支援

(1) 新分野での取り組み強化 【サービス業の海外展開支援(1/2)】

国内市場で培ったノウハウを活用して海外展開を検討する日本企業に対して、小売・流通・飲食等分野のアジア進出支援事業(ミッション派遣、情報提供)を強化。法制度、店舗×立地マップ等の情報を提供。



10

近隣クラブ例会案内

月曜日

火曜日

水曜日

木曜日

金曜日

山形西	大沼デパート
中山	料亭むらくま
天童西	ホテル王将
山形イブニング	パレスグランデール

山形南	ホテルキャスル
山辺	料亭さ津き
寒河江	さくらんぼ ホテルシングフォニー
山形イブニング	パレスグランデール

山形	山形グランドホテル
かみのやま	月岡ホテル
天童東	天童ホテル

山形北	山形グランドホテル
寒河江	グランテール寒河江

山形東	ホテルキャスル
天童	滝の湯ホテル

※欠席したらマークアップ、マークアップしたら出席委員長までご連絡下さい。

1. 海外展開の支援

**(1) 新分野での取り組み強化
【アジア・キャラバン】**

✓ 成長するアジアの都市に拠点を当てて、日本ブランドを売り込む「アジア・キャラバン」を実施。

✓ 具体的には、常設ショールームでの販路開拓、セミナー、展示会、商談会への参加、インバウンドでの販路開拓、モニタリングなどを実施。また2012年度には、これまで取り組んできた「Good Goods Japan」とヒット商品セレクションを統合的に実施。

✓ また、中国の大都市に加え、2012年度からアセアン（アラランゴル、バンコク）の主要都市でも展開。

【中国での開催】

中小企業ステージ：ニーズに合わせた、地域別セミナーを開催。
上海世博会シーカー：（2010年開催～2012年開催）
全国製造技術のチャレンジフォーラム
中小企業10社出展企画：クラッディング実施会議、2012年1月開催で出展者数は過去最高。

中国製造技術セミナー
中国製造技術セミナーは、各都市で開催。日本製品コーナーも実施。日本製品、技術、品質の良さをPR。

上海世博会シーカー：（2010年開催～2012年開催）
中国製造技術セミナー：Good Goods Japanとの試験展示。（2010年1月～2012年1月）
来場者、消費意向などを調査。

【アセアンでの開催（新規）】

クアラルンプール
高松市：中間取引人の販路開拓以上、アジアにおけるイマム市場のデータマイク。

吉隆坡：吉隆坡ショッピングモール（ハイリントン）にて、販路開拓セミナーを開催。モニタリングなどを実施。

日本企業3社が参加。約1,000人参加。

バンコク
貿易会議もしくは民間的なアセアン市場の重要な窓口が高まっている日本企業へのニーズが高く、大企業を中心に多くの企業が参入。

2012年1月に開催された「バンコク国際ギフトフェア」内のデバイスリアルマーケットにて、バイヤーと商談を実施。

1. 海外展開の支援

**(2) 新興国市場開拓支援への取り組み強化
【メコン圏域のビジネス環境整備1/2】**

【深まるメコンと日本の貿易・投資関係】

メコン圏域全体の貿易・投資関係
10年前
10年後
日本とメコン圏域の貿易額は、今後、年々増加する見込み。
日本とメコン圏域の投資額は、今後、年々増加する見込み。

メコン圏域への直接投資額
日本とメコン圏域の直接投資額は、今後、年々増加する見込み。

メコン圏域の生産ネットワークの強化

メコン圏域の生産ネットワークの強化
東南アジア圏
西海岸経済圏
南洋経済圏
北洋経済圏
内陸経済圏
メコン圏域の生産ネットワークの強化
日本とメコン圏域の直接投資額は、今後、年々増加する見込み。

1. 海外展開の支援

**(2) 新興国市場開拓支援への取り組み強化
【BOPビジネス支援】**

✓ BOP (Base Of the Economic Pyramid) 層のニーズに合った製品・サービスを提供するBOPビジネス支援によって、快発展先進上位の生活水準の向上に貢献しつつ、日本企業の新たな有望市場を開拓。

✓ 日本企業のBOPビジネス案件のワンストップセンター「BOP/ボリュームゾーン・ビジネス相談窓口」を立ち上げ、個別日本企業のBOPビジネス案件を初期段階からビジネス化に向けて一貫して支援。

BOP/ボリュームゾーン・ビジネス相談窓口

日本企業による「途上国」のBOP層を対象としたビジネスを支援するための相談窓口を開設。アジアやアフリカなどの現地のビジネス事情や投資相談などBOPに関する様々な相談を受け付。

主な個別企業支援メニュー

事業計画段階
◆ 本業構造（生産・販売・サービス、市場）
◆ 製造・加工のノウハウ
◆ 国内・バーナー販売との連携支援
事業実践段階
◆ テスマーケティング
◆ 市場開拓支援
◆ 海外パートナーとの連携支援
支援業務の強化
◆ リソース・マッチング
◆ デジタルマーケティング
◆ イベント・マーケティング
◆ パートナーシップ構築

現在約47億人と推定されるBOP層は、何よりも多くの人が中間層に上昇することが期待。

将来的ボリュームゾーン

木質処理剤、農業用ポンプなどの普及に取り組む。

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

1. 海外展開の支援

(5) グローバル人材育成支援

✓ 海外での実務経験を積む場を提供するため、海外インターンシップを通じた人材育成支援を実施。

✓ 日本の若手社会人・学生をインバウンドして開拓途上国への就労、政府助成機関、民間企業等に就労する事業をHIDA（海外実務経験人材育成協会）とコラボレーションを組んで実施。

【2012年度 グローバル人材育成インターンシップ派遣事業】

✓ 長期派遣
派遣地：16ヵ国（インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、インド、マレーシア、中国）
派遣会社：学生会員と学生会派遣
派遣人数：66人（応募：111人）
派遣期間：2~6ヶ月

✓ 短期派遣
派遣地：7ヵ国（インドネシア、ベトナム、フィリピン、タイ、インド、マレーシア、中国）
派遣会社：学生会員
派遣人数：66人（応募：256人）
派遣期間：2~3週間

✓ インターン生の成果発表
国際交流会。コミュニケーション能力、人的ネットワーク形成、ビジネスチャンスの拡大等

✓ 受入機関の成果発表
現地実業家の成長。日本への理解・関心の向上、人的ネットワークの形成、ビジネスチャンスの拡大等

Copyright © 2010 JETRO. All rights reserved.

1. 海外展開の支援

**(2) 新興国市場開拓支援への取り組み強化
【インドにおけるビジネス環境整備（1/2）】**

✓ ジェトロは、デリームンバイ産業大都市構想において、ビジネス環境整備、投資環境整備ミッションの実施、ビジネス・サポート・センター設置を通じて、開拓プロジェクトの目標す日本企業の進出を支援。

✓ インド国内製造政策においては、同ワーキング・グループの日本側の事務局を担当。

✓ 日印エコルギー対話にて合意されたエコルギー・環境技術等の導入分野のビジネス促進に協力。

デリームンバイ産業大都市構想
同構想の実現会員のオブザーバーとして参加。日本国外でのセミナー・情報協力など。日本企業に対する情報提供面で協力。

日本新興市場拠点の成長
ラクシランガムムラ
グジャラート州アーズマーード道路

国家製造業政策担当事務局
2012年4月、日本政府が行うる共同実験で、ジェトロが実務局として日本企業ニーズをヒアリングし、課題を実施。

南部中核拠点構想
日印開拓市は、タミル・ナドゥ州で、運河、工業団地、タウンシップ、地下鉄、高速鉄道整備など総延長距離を計画。建設活動を取引決め、官民一体で推進（ジェトロが協力）。

14

1. 海外展開の支援

**(2) 新興国市場開拓支援への取り組み強化
【ミャンマーにおけるビジネス環境整備1/2】**

【ミャンマーに対する関心の高まり】

ジェトロWEBの国・地域別情報（J-Globe）におけるミャンマー関連情報のアクセス件数（2012年度4～10月）は前年同期比127.3%増の145件。

日本からの輸出は、輸入規制緩和を背景に急増（2012年1～9月は前年同期比3.5倍）。輸出額は、約3割の中古自動車輸出。

日本からの製造業投資は、2012年1月に10年ぶりに新規での投資（300万ドル）が認可された後、「TIF分野（オフィシャ開発）などの投資が続いた。

2012年4月以降、米・欧・日の経済刺激が大幅緩和、コカ・コーラ、ペプシ、など米国系企業の動きも活発化。

ミャンマー投資の課題は、法制度の未整備、電力・港湾・工業団地などのインフラ整備遅延。

【新外国投資法成立とティラワ、ダウェイへの期待】

2012年11月2日、外国投資法改正法成立。90日以内に施行細則制定。現在、ミャンマーでヤンゴン近郊のティラワ経済特区（2,400ha）開発が進行。

2012年7月、タイ・ミャンマー間にダウェイ経済特区（25,000ha）の開発に関する協力に合意。2013年4月に着工予定。

15

1. 海外展開の支援

(3) 海外展開中小企業の発掘

✓ 中小企業の海外展開のすそ野拡大を図るために、「輸出有望案件開拓支援事業」の拡充、更なる発掘を図るためにの国内コードネイターの配置、「地域間交流支援事業」の充実、関係機関との連携によるサービスの充実など、支援ツールを拡充。

【輸出有望案件開拓支援事業の拡充（専門家の増強（25名⇒35名程度）】

✓ 優れた技術・製品を持ち输出有望と認められる中小企業に対して、戦略立案などの準備段階から海外アライアンスとの提携を経て販路開拓による輸出実現に至るまで専門家が一貫支援を行う「輸出有望案件開拓支援事業」を実施。

✓ 2012年度は専門家を増員（25名→35名程度）、年間約180社を支援。

【国内コーディネーターの配置】

✓ 海外市場を開拓し得る日本企業への支援強化のため、国内に新たにコーディネーターを配置。

✓ ポテンシャルのある中小企業の発掘、ビジネスプランの提案、現地市場についての情報提供、アドバイス等を実施。

✓ その元に、ジェトロ事業（展示会など）への参加企業のうち、ポテンシャルのある中小企業に対し、他のツールによる支援などフォローアップ体制も充実。

【地域間交流支援（Regional Industry Tie-Up : RIT）事業（RIT事業）】

✓ 地域の農業団体、産業集積地等に属する中小企業が、海外の産業集積地との間で輸出や技術提携、共同開発等に取り組む活動支援。（事前審査1年、本事業3年）

✓ アジア貿易開拓機関フォーラム（AITF）等の場を活用し、アジア内での地域間産業交流促進に向けて、メンバー間と情報共有や普及活動等に取り組む。

21

2. 対日投資の促進

(1) 経済波及効果の高い案件の重点誘致

✓ 対日投資の拡大は、経営ノウハウや技術、人材などの経営資源の流入を通じ、我が国の生産性の向上や雇用の創出に貢献。

✓ ジェトロは、外國企業説教会の中核機関として、経済波及効果の高い案件の説明を取り組む。中でも、アジア地域経済圏、研究開発拠点、産業分野（医療・新エネルギー、医療・観光など）、雇用効果の高い案件の国内での本地化促進に取り組む。

【海外での活動】

✓ 海外ネットワーキングを活用し、海外会員の連携、既存会員間の連携、既存会員間の連携を行わない新規会員（環境、機械、エネルギー、医療、経営など）との新規会員登録を行っている。

【アジア権益化立地推進事業】

✓ 國内に新規拠点として研究開発拠点の設置を目的とする外國企業に対し、事業実現のための新規拠点の選定、新規拠点の開拓、新規拠点の開拓、新規拠点の開拓を行っている。

【対日投資・ビジネスサポートセンター（IBSC）】

✓ 土豪郡カウジタ（重慶、緒源、老撲、大慶、林丹、桂陽）に对日投資・ビジネスサポートセンターを設置。

✓ 製造者が在籍するスタッフが部門別で、實務にまたがる新しいトータル支援を通じて複数の技術中、個別企画に応じたコンサルティング等を実施。

✓ 日本に恵まれない外國企業が利用できるオフィススペースを提供。

26